

広島県告示第 1042 号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和 48 年法律第 110 号）第 5 条第 1 項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第 4 項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成 19 年 10 月 22 日

広島県知事 藤 田 雄 山

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	大阪府大阪市北区梅田 3 丁目 4 番 5 号 ダイセル化学工業株式会社 代表取締役社長 小川 大介
工場又は事業場の所在地及び名称	大竹市東栄 2 丁目 1 番 4 号 ダイセル化学工業株式会社大竹工場

2 申請の内容

37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 2 基を新設し、3 基の使用の方法を変更し、37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄施設 13 基を新設し、2 基の使用の方法を変更する。

また、第四排水処理施設、第一、二、三中和槽、第 6 排水処理施設リン処理設備の使用の方法を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法（その1）

種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (No.1 (スクラバー))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (No.2 (スクラバー))		
能 力 (1 日 当 たり)		4 m ³ 排水		4 m ³ 排水		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日		着手後 30 日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日		完成後 1 日		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		9時間断続使用 (なし)		9時間断続使用 (なし)	
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大
	排 出 さ れ る 汚 水 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5	3	9	11
		化学的酸素要求量	125	200	100	100
		浮遊物質 量	1	1	1	1
		窒素含有量	90	280	150	370
		燐含有量	0.1	0.5	0.1	0.5
		油 分	0.1	1	0.1	1
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		4.0	4.0	4.0	4.0
	汚 水 等 の 排 出 先		第1排水口		第1排水口	

(その2)

種 類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (アミン(2)製造施設 G2-12 (K-120 缶出口))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (エポキシド製造実験施設 X-19 (J800-S))	
能 力 (1 日 当 たり)		124.3 m ³ 排水		1.5 m ³ 排水	
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに	
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日		着手後 30 日	
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日		完成後 1 日	

使用 方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続使用 (なし)		24時間連続使用 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出される汚 水等の状態	水素イオン濃度(単位:水素指数)		7	11	7	6
		化学的酸素要求量		150	300	39	41
		浮遊物質量		10	15	5	10
		窒素含有量		14	42	0	0
		燐含有量		0	0	0	7
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位:m ³)		113.9	124.3	1.5	1.5	
汚水等の排出先		第2排水口及び第3中和槽		第2排水口			

(その3)

種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 2基 (T-1004(スクラバー)、T-1103(スクラバー))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (グリセリン製造施設 W-33 (J-615))				
能 力 (1 日 当 たり)		4.8 m ³ 排水	5.9 m ³ 排水				
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに	許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後30日	着手後30日				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後1日	完成後1日				
使 用 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		9時間断続使用 (なし)		24時間連続使用 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
	排出される汚 水等の状態	水素イオン濃度(単位:水素指数)		7	11	7	6
		化学的酸素要求量		100	180	1.2	1.3
		浮遊物質量		1	1	1	5
		窒素含有量		1,975	2,100	0	0
		燐含有量		0	10	0	10

法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	4.8	4.8	5.9	5.9
	汚水等の排出先	第2排水口		第2中和槽	

(その4)

種類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (T-1203 (スクラバー))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (T-1204 (スクラバー))		
能力 (1日当たり)		4.8 m ³ 排水		4.8 m ³ 排水		
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	着手後30日		着手後30日		
	使用開始予定年月日	完成後1日		完成後1日		
使用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	9時間断続使用 (なし)		9時間断続使用 (なし)		
	項目	通常	最大	通常	最大	
	排出される汚 水等の状態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	7	5	7	5
		化学的酸素要求量	600	600	11	12
		浮遊物質量	1	1	1	1
		窒素含有量	0	0	150	158
		燐含有量	0	10	0	10
油分	0.1	1	0.1	1		
法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	4.8	4.8	4.8	4.8	
	汚水等の排出先	第2排水口		第2排水口		

(その5)

種類	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (グリセリン製造施設 W-34 (J-655))	37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1基 (エポキシ化動植物油製造施設 Z-27 (J-210))
----	---	---

能力 (1 日 当 た り)		5.7 m ³ 排水		4.0 m ³ 排水		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日		着手後 30 日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日		完成後 1 日		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	24時間連続使用 (なし)		24時間連続使用 (なし)		
	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大	
	排 出 さ れ る 汚 水 等 の 状 態	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	9	11	7	7
		化学的酸素要求量	14	14.7	2,000	4,000
		浮遊物質 量 (単位: mg/l)	1	10	5	10
		窒素含有量	3	3	0	0
		燐含有量	0	10	0	10
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	5.7	5.7	4.0	4.0	
汚 水 等 の 排 出 先	第 2 中 和 槽		第 2 中 和 槽			

(その6)

種 類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1 基 (エポキシ化動植物油製造施設 Z-28 (J-350))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗 浄施設 1 基 (エポキシ化動植物油製造施設 Z-29 (J-360))		
能力 (1 日 当 た り)		1.2 m ³ 排水		4.0 m ³ 排水		
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに		
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後 30 日		着手後 30 日		
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後 1 日		完成後 1 日		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)	24時間連続使用 (なし)		24時間連続使用 (なし)		
	項 目	通 常	最 大	通 常	最 大	
	排 水 等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	7	7	7	7
		化学的酸素要求量	1,000	1,100	4,500	9,000

の 方 法	さ れ る 汚 水	浮遊物質量	(単位： mg/l)	5	10	5	10
		窒素含有量		0	0	0	0
		燐含有量		0	10	0	10
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)			1.2	1.2	4.0	4.0
	汚水等の排出先			第2中和槽		第2中和槽	

(その7)

種 類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (エポキシ化動植物油製造施設 Z-30 (K-360))		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄 施設 1基 (エポキシ化動植物油製造施設 Z-31 (K-380))			
能 力 (1 日 当 たり)		9.4 m ³ 排水		7.2 m ³ 排水			
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに		許可後直ちに			
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	着手後30日		着手後30日			
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	完成後1日		完成後1日			
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		24時間連続使用 (なし)		24時間連続使用 (なし)		
	項 目		通 常	最 大	通 常	最 大	
排 出 さ れ る 汚 水	水素イオン濃度 (単位：水素指数)		7	7	7	7	
	化学的酸素要求量		2,000	4,000	5.2	5.4	
	浮遊物質量		(単位： mg/l)	5	10	5	10
	窒素含有量			0	0	0	0
	燐含有量			0	10	0	10
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		9.4		9.4	7.2	7.2	
汚水等の排出先		第2中和槽		第2中和槽			

(その8)

			変更前		変更後	
種	類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (アミン(1)製造施設 G1-2 (K-203 デカンター))			
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに	
	工事完成予定年月日				着手後直ちに	
	使用開始予定年月日				完成後直ちに	
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の状態	窒素含有量	(単位: mg/l)	10,000	30,000	9,000

(その9)

			変更前		変更後		
種	類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (アミン(1)製造施設 G1-3 (K-204 デカンター))				
工期等	工事着手予定年月日		既設		許可後直ちに		
	工事完成予定年月日				着手後直ちに		
	使用開始予定年月日				完成後直ちに		
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水等の状態	化学的酸素要求量	(単位: mg/l)	23,000	23,000	20,500	20,500
		窒素含有量		10,000	30,000	9,000	26,760

(その10)

			変更前		変更後	
種	類		37 ロ 石油化学工業の用に供する分離施設 1基 (ピリジン製造施設 P-17 (K-241 缶出水))			

工期等	工事着手予定年月日		既設	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日			着手後直ちに		
	使用開始予定年月日			完成後直ちに		
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の状態	窒素含有量 (単位: mg/l)	18,761	29,724	17,490	28,360

(その11)

			変更前	変更後		
種類		37 タ 石油化学工業の用に供する排ガス洗浄施設 2基 (グリセリン製造施設 W-29 (O-601B), W-30 (K-620))				
工期等	工事着手予定年月日		既設	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日			着手後直ちに		
	使用開始予定年月日			完成後直ちに		
使用の方法	項目		通常	最大	通常	最大
	排出される汚水等の状態	燐含有量 (単位: mg/l)	5	25	0	5

(2) 汚水等の処理の方法 (その1) 第四排水処理施設

			変更前	変更後		
工期等	工事着手予定年月日		既設	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日			着工後1日		
	使用開始予定年月日			完成後1日		

使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
				通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
		窒 素 含 有 量	(単位 : mg/l)	1,990	2,139	213	353	1,962	2,110	210.0	348.2
磷 含 有 量	(単位 : mg/l)	239	436	96	174	233	430	94.0	172.0		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位 : m ³)		2,650.4	2,905.1	2,650.4	2,905.1	2,658.8	2,913.5	2,658.8	2,913.5		

(その2) 第一中和槽

			変 更 前				変 更 後				
工期等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設	処 理 前		処 理 後		許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日						着工後1日				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日						完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		化学的酸素要求量	(単位 : mg/l)	812	1,166	812	1,166	811	1,165	811	1,165
		窒 素 含 有 量	(単位 : mg/l)	76	169	76	169	75	168	75	168

(その3) 第二中和槽

			変 更 前				変 更 後				
工期等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	既設	処 理 前		処 理 後		許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日						着工後1日				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日						完成後1日				
使用の方	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項 目		処 理 前		処 理 後		処 理 前		処 理 後	
		化学的酸素要求量	(単位 : mg/l)	46	146	46	146	74	201	74	201
		窒 素 含 有 量	(単位 : mg/l)	25	36	25	36	24	35	24	35
		磷 含 有 量	(単位 : mg/l)	5	114	5	114	5	111.8	5	111.8

法	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,461.9	1,538.2	1,461.9	1,538.2	1,499.3	1,575.6	1,499.3	1,575.6
---	--	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

(その4) 第三中和槽

		変更前				変更後				
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日					着工後1日				
	使用開始予定年月日					完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		窒素含有量	(単位：mg/l)	2,497	2,572	2,497	2,572	2,469	2,546	2,469
	燐含有量		229	450	229	450	220	438	220	438
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,778.0	2,008.0	1,778.0	2,008.0	1,800.4	2,030.4	1,800.4	2,030.4	

(その5) 第6排水処理施設リン処理設備

		変更前				変更後				
工期等	工事着手予定年月日	既設				許可後直ちに				
	工事完成予定年月日					着工後1日				
	使用開始予定年月日					完成後1日				
使用の方法	処理前処理後の汚水等の汚染状況	項目	処理前		処理後		処理前		処理後	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
		化学的酸素要求量	(単位：mg/l)	146	224	144	221	145	222	144.0
	窒素含有量		34	61	33	59	33	60	32.5	59.1

(3) 排出水の汚染状態

変更なし

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成19年10月22日から平成19年11月12日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境部環境対策局環境対策室及び広島県広島地域事務所厚生環境局環境管理課並びに大竹市都市環境部環境整備課